

ペースメーカー・除細動器交換術最新版 患者さんパスシート

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	循環器内科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月日	
経過	入院日:手術前日
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術、入院生活について理解しましょう。 手術に必要な物品を準備し、手術に向けて心身の準備をしましょう。 転倒予防について理解しましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 体温、血圧、脈拍の測定を行います。 心電図モニターを装着します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血があります。 心電図・レントゲンの検査があります。
薬	<ul style="list-style-type: none"> お薬を内服されている方は入院時に4日分持参してください。医師・薬剤師が確認し、内服を継続するかどうか確認します。 抗凝固剤・抗血小板薬は指示されたとおり中止します。 
処置	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 塩分6gの病院食が食べられます。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ペースメーカーを入れる部位をシャワー(またはベッド上で洗浄)で清潔にします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活についてのオリエンテーションを行います。 主治医から手術についての説明があります。 手術に必要なものを準備していただきます。 ①前開きのパジャマ ②弾性ストッキング ※弾性ストッキングは病棟にてご用意します ペースメーカー手帳を手術室に持参しますので確認します。 看護師から手術までと手術後の予定について説明をいたします。 転倒防止についての説明を致します。 不明な点や不安に思うことがありましたらいつでもお知らせください。 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ペースメーカー・除細動器交換術最新版 患者さんパスシート

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	循環器内科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月 日	
経過	2日目:手術当日(手術前)
達成目標	・手術を受ける準備をしましょう。
観察	・入室前に体温、血圧、脈拍の測定を行います。 ・胸が苦しくないか、または不整脈の有無について観察致します。
検査	・特にありません。
薬	・当日朝の内服は医師の指示に従ってください。 ・医師に指示された時間より、点滴が開始になります。 ・手術に行くときに、抗生物質の点滴をします。 
処置	・弾性ストッキングを履いてお待ちください。 ・弾性ストッキングは医師の指示があるまで、継続して履いていただきます。
排泄	・手術直前にお手洗いを済ませてください。 
活動	・制限はありません。
食事	・当日は朝食・昼食は禁食、夕食より再開になります。水分は飲むことができます。
清潔	・手術前に歯磨き、洗面を行いましょ。
説明指導	・入れ歯、時計、指輪、眼鏡など体から外せるものは全て外してください。 ・女性は化粧やマニキュアは落としてください。 ・貴重品は金庫に入れて鍵をかけて下さい。鍵は御家族へ預けてください。 ・ご家族は病院内でお待ちください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ペースメーカー・除細動器交換術最新版 患者さんパスシート

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	循環器内科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月 日	
経過	2日目:手術当日(手術後)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・機械を入れた部位の安静を保ち、無理せず活動を行いましょう。 ・痛みなどの苦痛がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 ・手術後の創部の確認を行い、出血や腫れのないことを確認しましょう。 ・転倒・転落の予防について理解しましょう。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・体温、血圧、脈拍の測定を行います。 ・心電図モニターを装着し、不整脈の有無・脈拍数を確認します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の内服は医師の指示に従ってください。 ・手術4時間後に抗生物質の点滴を行います。終了したら針を抜きます。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありませんが、手術後は転倒防止のため看護師が翌朝まで付き添い歩行します。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後はベッドもしくは車いすで病室に戻ります。 ・帰室後は、血圧、脈拍、心電図に異常がなければ制限はありませんが、歩行の際は翌朝まで看護師が付き添います。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・気分が悪くなければ夕食から食事が開始になります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・術後は看護師が洗面、歯磨きのお手伝いをします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みがある場合はお薬が使用できますので、我慢せず看護師にお知らせください。 ・転倒防止の説明をいたします。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ペースメーカー・除細動器交換術最新版 患者さんパスシート

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	循環器内科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月 日				
経過	3日目:(術後1日目)			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みなど苦痛がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 ・機械を入れた部位の腫れや痛みがないことを確認しましょう。 ・安全に歩行し、転倒に注意しましょう。 ・退院後の生活について理解しましょう。 			
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・体温、血圧、脈拍の測定を行います。 ・機械を入れた部分の出血や腫れ、痛みがないかを観察します。 ・心電図モニターを退院まで装着し、不整脈の有無・脈拍数を確認します。 			
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・起床後に採血を行います。 ・レントゲンと心電図の検査があります。 			
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従ってください。 ・血液をサラサラにする薬(抗凝固薬)を中止していた場合は、内服開始日を退院前にお伝えします。 			
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・傷口は被覆材で保護したままにします。 			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 			
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・塩分6gの病院食が食べられます。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸しタオルで体拭きを行います。 ・手の届かないところや傷のまわりは看護師がお手伝いします。 			
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・傷の痛みがある時は看護師をお呼びください。 ・転倒予防について説明を致します。 ・退院後の生活の注意点について看護師から説明をいたします。 			

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ペースメーカー・除細動器交換術最新版 患者さんパスシート

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	循環器内科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月 日					
経過	4日目:(退院日)				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みなど苦痛がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 ・機械を入れた部位の腫れや痛みがないことを確認しましょう。 ・退院後の生活について理解しましょう。 				
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・体温、血圧、脈拍の測定を行います。 ・機械を入れた部分の痛みがないかを観察します。 ・心電図モニターを退院まで装着し、不整脈の有無・脈拍数を確認します。 				
検査					
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・内服は医師の指示に従ってください。 ・血液をサラサラにする薬(抗凝固薬)を中止していた場合は、内服開始日を退院前にお伝えします。 				
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・医師が傷口を確認します。 				
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 				
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 				
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・塩分6gの病院食が食べられます。 				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー、入浴に関しては傷口の状況を見て担当医が指示します。 				
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・傷の痛みがある時は、痛み止めの処方を医師に確認いたします。 ・退院後の生活の注意点について看護師から説明いたします。 ・退院後の外来診察日について説明をします。 ・保険などの書類は退院日に本館1階中央受付Aに提出してください。(ただし、退院日が日曜日・祝日の場合は前日に提出してください。) 				

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

<退院後に気を付けていただきたいこと>

1. 機械を入れた部位の傷の保護

退院後、機械を入れた部位の消毒は必要ありません。

傷に貼っているテープは自然にはがれるまで、そのままにしておきましょう。

退院時にシャワーの許可が出ている方は、傷を石鹸の泡で優しくなでるように洗いましょう。入浴については、次回外来時に医師にご相談ください。

傷がいつまでも傷んだり、腫れたり、赤くなったり、熱を持ったり、浸出液が出たりしていないか、鏡で毎日確認しましょう。機械を入れた部位は自分で直接見ることができません。ご家族やヘルパー、訪問看護師などにも機械を入れた部位に異常がないかを一緒に見てもらいましょう。このような症状が出てきた場合は、すぐに外来を受診しましょう。

機械を入れた部位は、傷が治ってからも、強くぶつけたり、圧迫しないようにしましょう。

2. 運動・仕事・次回外来日について

・次回外来までに仕事復帰を予定されている方、ジョギング等運動をする予定がある方は退院前に再開してよいか、医師へご相談ください。

・次回外来までに下記の症状が出現した際は、循環器内科外来までお電話にてご相談ください。緊急で受診をしたほうがよいか、医師が判断します。

ただし、夜間・休日の場合は総合診療センターまでお電話ください。

①傷口から出血する。

②高熱（38℃以上）が続くとき。

③傷口が腫れる、痛む、熱を持つとき

このほかに、心配なことや分からないことがありましたら、いつでも医師・看護師にご相談ください。

日本医科大学付属病院
(代表) 03-3822-2131
東京都文京区千駄木1-1-5